

(株)身のこなしラボラトリー

例えばロンドン五輪の男子体操で個人総合金メダリストに輝いた内村航平選手が繰り出す難易度の高い技。技自体を外形的にとらえ、分析するのは比較的容易だが、筋肉の動きまで詳細に把握するのは難しい。この難題に挑んで開発されたのが、身のこなしラボラトリー(福井市)の筋活動「マッスルアライブ(MA)」だ。脳が筋肉に送る微弱な信号を音と光で伝える。

※ ※

MAは五百円玉を2枚並べた程度の大きさ。厚さは約1センチで重さも15gしかない。これを活動を測定したい筋肉の上にシールで張り付け、力を入れたり抜いたりする。神経の電位の変

筋活動センサー「マッスルアライブ」



最新版のマッスルアライブは筋肉の活動を無線でスマートフォンに表示できる

複雑な動き 判別容易

化を感じて、MAから音と光が発生する仕組みだ。作や微妙な力の入れ方など筋肉の収縮速度に合わせを選手に教えるのに役立つ。テンポが変わるため、スほか、リハビリの際にも威

力を発揮する。筋力トレーニングに用いれば、筋肉に最大の負荷がかかる瞬間が正確に分かるため、「トレーニングの質を高められ、筋力を効果的に高められる」(岡本耕至社長)。

※ ※

その後、パソコンとケーブルで接続し、筋肉の活動をグラフで表示できる製品を追加した。すでに県内外のスポーツのコーチや神経内科、整骨院などで使われている。

※ ※

筋力が働いているのは動きがある時だけではない。力みは動作を伴わないが、筋肉は活動している。外からは分かりにくいMAを使えば簡単に判別できるため、「力んではいけない場面なのに選手が力を入れてしまったかどうか分かる」。

MAは福井大学との共同研究で開発した製品で、2010年秋に単体で発売。MAワイヤレスは音がス

MAは福井大学との共同研究で開発した製品で、2010年秋に単体で発売。

11月に発売予定の最新版「マッスルアライブ ワイヤレス」は、本体に取り付けた発信器とスマートフォン(高機能携帯電話)を無線でつなげるようにした。無線化することで取り回しが楽になるだけでなく、スマホに内蔵されたカメラを使い、動作と筋肉の活動を同時にグラフで表示することも可能になった。MAワイヤレスは音がス

MAワイヤレスは音がス

MAワイヤレスは音がス

MAワイヤレスは音がス